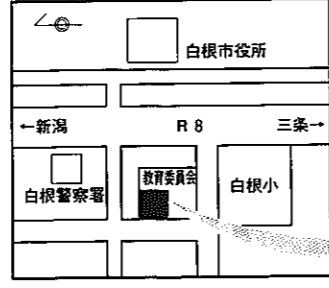
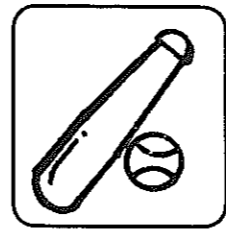


カルチャーセンター ☎373-6311
 上下諏訪木1811 開館=9時~22時
 休館日=第3月曜日 ランニングコース、トレーニングルーム、柔道場ほか

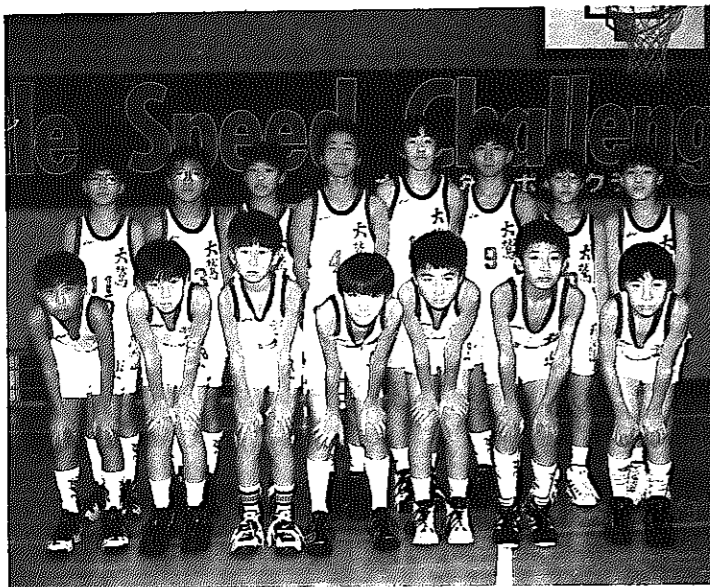
しろね大衆と歴史の館 ☎372-0314
 上下諏訪木1770-1 開館=9時~17時
 休館日=水曜日 風のミュージアム、3D映像室、風工房、風洞実験室ほか



市立図書館 ☎373-2810
 開館=9時~17時 (火・金は20時まで)
 休館=第2・4月曜と祝日 貸し出し=1人1回4冊以内、2週間まで



文化・スポーツ



北信越ミニバスケット大会 発足2年目で堂々3位入賞

大鷲少年スポーツクラブ

先月、石川県で開催された北信越ミニバスケットボール大会で、大鷲少年スポーツクラブの皆さんが、三位に食い込む活躍を見せました。大会は一月四日から六日まで、金沢市総合体育館で開かれました。予選リーグを勝ち上がった大鷲チームは決勝トーナメントに進出。準決勝で石川県珠洲市チームに敗れたものの、三位決定戦で輪島チームに34-31と粘り勝ち。堂々の三位入賞を果たしました。

監督である大鷲小学校の上田研一先生は「県予選から、逆転の試合ばかりだった。見ていた親御さんたち

市体育協会が募集をしていた協会シンボルマークがこのほど決定しました。採用されたのは柏木勇三さん(岩手県)の作品です。

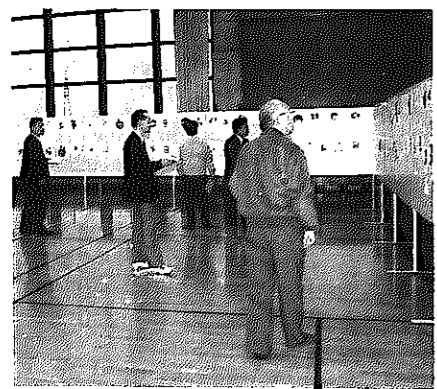
募集に当たって全国的な公募雑誌を利用したことにより、各地からなんと三百十二点もの応募が。優秀な作品群に選考も困難を極めました。結果、柏木さんの作品が選ばれました。作品は今月の体育功労者表彰式の席上と、次号の体協だよりでお披露目されます。お楽しみに。

【体育功労者表彰式】 ■とき 2月23日(日) 午前10時30分 ■ところ カルチャーセンター ※ミニ講

決定、シンボルマーク

白根市体育協会

演会として林利八氏(新大教育学部教授)の講演も行われます。ぜひお出掛けください。



説 カルチャーセンター トレーニング機器説明会 & 体力測定

カルチャーセンターでは、トレーニングルームの利用者のために、夜間も指導者を配置して機器の説明会を行うことにしました。また体力測定も実施します。参加費は無料です。効果的に体を鍛えるため、ぜひ参加ください。

【トレーニング機器説明会】 ■期日 2月6日(木)~3月6日(木)の毎週水曜日 ■時間 ①午後6時~②午後7時~③午後8時~ 1回40分程度 当日、受け付けします ■場所 トレーニングルーム

【体力測定】 ■期日 2月5日(水)~26日(水)の毎週水曜日 ■時間 午後6時~8時30分 ■場所 研修室 ■以上、問い合わせ カルチャーセンター ☎373-6311

教 カルチャーセンター レディーススキーセミナー 受講生を募集

女性のためのスキーセミナーです。スキーの正しい技術を学んでみませんか。ぜひ参加ください。

■とき 2月4日(火)・18日(火)・3月4日(火) 午前8時30分~午後5時

各1回コース ■ところ 六日町ミニスキー場を予定 ■対象 高校生以上の女性 ■定員 各20人(先着順。申込者が10人以下の場合は中止) ■指導 白根スキークラブ会員 ■参加費 2,500円(リフト代、昼食代は含まれません) ■持参品 スキー用具、健康保険証 ■その他 貸しスキーは現地にて、料金は別途 ■申し込み 各回とも開催日の4日前までに参加費を添えて申し込み ■申込先・問い合わせ カルチャーセンター ☎373-6311



スポーツ大会結果

●大郷・鷺巻・根岸・大通 親善バドミントン大会 (12月15日・北中体育館)

【一般】①鈴木敏秀・相馬淳子②相馬清・野川彰夫③長谷川敏夫・河西利夫
 【中学生】①関根康夫・吉田真理②牧野恵・堂下ともひろ③五十嵐百合子・赤塚由美
 【小学生】①籠島隼介②藤井学③野川和敏、長沼ゆい

図書館情報

●今月の受け入れ図書
 ▶ウンター・デン・リンデンの薔薇/栗本薫 ▶取り扱い注意/佐藤正午 ▶天然理科少年/長野まゆみ ▶青猫屋/城戸光子 ▶木枯し紋次郎同じく人殺し/笹沢左保 ▶お楽しみ/出久根達郎 ▶アイランド/葉月堅 ▶みるなの木/椎名誠 ▶拳闘士の休息/トム・ジョーンズ ▶うわの空で/サンナ・タマーロ ▶帝国の終末論/山内昌之 ▶小・中学生のインターネット入門/ジェイソン・ベイジ ほか



ビルマからの手紙

アウンサンーチー 毎日新聞連載中のコラムの単行本化。政権の圧力にも屈せず、自由な国をつくらうとする著者の文章は魅力的。

給水塔の町



泉 麻人 ベーゴマ、傷痍軍人、舟木一夫。ときは昭和38年、町外れの給水塔へ僕たちは出発した。「僕の町」の冒険物語。

あなたも風博士

文田村和雄 大衆と歴史の館 運営委員会委員長

六角風(三) (見附市)

抜群の飛揚力と安定性を持つ六角風は、新潟では馴染み深い風です。見附市今町と中之島町では、六月上旬、刈谷田川を挟んで、六角風で合戦をします。ここでは、百枚張りという大きな風も登場します。白根のように、絡めて綱を切り取る合戦です。キャラと呼ばれる滑車を用いて、堤防上だけで引き合う工夫もされています。

全国には、八カ所ほどで風合戦が行われていますが、ほとんどが風を操縦して糸の摩擦によって切り取る空中戦型です。綱引きによって勝敗を決するのは白根と今町だけです。「〇〇の風には懸賞が掛かっています」。こんなアナウンスが流されて、「牧歌的な合戦」といったのんびりした合戦です。合戦は、江戸時代中ごろから始まったとのこと。かつては、三条の風屋が作った六角風で合戦をしていました。今は有志が自前の風を作り、合戦を楽しんでいます。



キャプテンを務める山田達朗君は「県予選では決勝で負けたので、その分、北信越ではかけるものがあった。みんなが絶対勝つんだと思っていた」と話します。自らのチームについては「明るくて楽しいクラブ。練習は厳しいけどやめたいとは思わない。中学へ入ってもみんながバスケットができてほしい」とのこと。バスケットの面白さを聞くと「シュートを決めた瞬間はもちろんだけど、それ以上に、いいパスが通って、それを仲間がバシッと決めてくれたときが最高」との答え。日々の練習から生まれた強いチームワークこそ、入賞の原動力だったようです。